

# 子どもたちの確かな人権感覚

## 小・中学生の人権標語から

教育委員会では、町内の小・中学生から人権標語を募集しました。子どもたちが発する短い言葉の中には、熱い思いが出ており、心に響くものがたくさんありました。

**特選**  
 おともだち いっぱいふやして あそぼうよ (小1)  
 ちゅういする それも一つの 思いやり (小3)  
 その言葉 自分が言われて どう思う? (小5)  
 言う勇氣 とめる勇氣を だしてみる (中3)

**入選**

なくしたい じぶんのいやは ひと (小1)  
 もいや ひとりひとりの よい (小1)  
 みつけよう ひとりのよき (小1)  
 ところ いけないよ しらんぷりして ぎず (小1)  
 つける よくきいて ほんとのことを たし (小1)  
 かめる 「どうなの?」 心をひろく まほ (小2)  
 つのことば ありがとう そのひとことが えが (小2)  
 おうむ じぶんがね されてやなこと やめ (小2)  
 ようよ 「だいいよぶぶ。」 君のやさしい (小3)  
 その言葉 考えて 人がぎずつく その前に (小3)  
 友だちと はげます気持ち すてき (小3)  
 だね いじめはね みてちやだめだよ注 (小4)  
 意して 大切な なかまはいつも そばにい (小4)  
 る かんがえて あいてのきもち (小4)  
 るから 考えよう 言っていないこと わるい (小5)  
 (小5)

勇氣出せ 差別の心 おい出そう (小5)  
 きめつけや うわさにせたい 流 (小5)  
 されない その言葉 一度心で 確かめよう (小5)  
 笑顔はね みんなのハートを 結び (小6)  
 種 やさしさの あふれることばを つ (小6)  
 かおうよ 考えよう 自分が発する 言葉の重 (中1)  
 み 差別だめ そういうあなたは して (中1)  
 ないの? 温かい あなたの言葉と その気持ち (中1)  
 ち 人と人 つなぐ絆は 思いやり (中1)  
 (中2)  
 「また明日」 なんだか身近な 言葉 (中2)  
 だね ほっとくの? 見て見ぬふりも い (中2)  
 じめじゃない? 無視をする 一番ひどい いじめか (中2)  
 も 行動で 差別なくせる 人になる (中2)  
 (中3)  
 あとじゃだめ 後悔するよ ないお (中3)  
 (中3)

※特選は、役場や公民館、文化会館、交流情報センターに展示します。

益城町教育委員会

ふるさとの  
地名漫歩

歴史の変遷と地名

341

飯田山常楽寺①

筆者の自宅を開放し、ボランティアで「熊本歴史炉辺談話塾」を開設して満4年、「朝来山・尾峯山福田寺」と「矢嶋姉妹の母・鶴子の2つの課題を終わりに、今年から常楽寺の研究に入ります。折から、潮井さんと飯田山の公園化の話があり、潮井宮の歴史は前回、前々回と紹介しました。

益城町史編纂で古民家調査を依頼した、現熊大工学部の北野名誉教授(熊本城研究第一人者)は、「町興しの要諦は、永い風雪に耐えた文化財を核にする」として当時筆者に語られました。産土の霊と文化財を護り伝えた古人の祈りと熱意の理解・感動が大切に、今各地の町興しの成功例もこの原則が生きています。

今回から常楽寺の歴史について、益城町史編纂時の史料とその当時には未発見で今回発見の史料等による「炉辺談話塾」の研究成果を参考に、少しずつ紹介して行くことと思えます。

筆者は、平成13年から平成20年まで民俗学担当の編集委員として御船町史の編纂に関

わりましたが、その時感じたのは、御船町(特に飯田山麓の木倉地区)と益城町住民との飯田山常楽寺への距離感・親近感の違いです。

たとえば、益城町の中世の宗教圏は飯野地区、特に飯田・土山の人々は飯田山常楽寺、津森地区は寺中の東の伽藍(西福寺)、また千光寺その他があり、福田地区では幻の中世寺院「福田寺」で、木山・広安地区からは飯田山は遠望する中で、信仰の山と言うよりもハイキング行楽の山の印象です。しかし、木倉地区からは飯田山は頭上に聳える聖域の感じの山です。

益城町文化財を訪ねる会

会長 松野國策



飯田山の遠望